

支倉常長フェロー報告書

提出日 H.21年 6月17日



申請者	氏名	金子慶三
	所属・職	国際高等教育研究機構・助教
出張期間	21年 6月4日 ~ 6月11日	
渡航先	アメリカ (ニューオーリンズ)	
渡航目的	学会参加 (アメリカ糖尿病学会)	
発表演題名あるいは 共同研究課題名	Obesity and Insulin Resistance Alter Circadian Expressions of Molecular Clock Genes in the Brainstem	
得られた成果など	<p>今回 ADA (American Diabetes Association ; アメリカ糖尿病学会) の学術集会へポスター発表という形で参加してきました。一年に一度のイベントであり、主にアメリカ、ヨーロッパからの演題が中心ですが、アジアからの演題も少なからずありました。</p> <p>初めての海外の学会への参加でしたので、非常に楽しみにしており、この機会にいろいろと勉強しておきたいと考えていました。</p> <p>ニューオーリンズにあるコンベンションセンターで開催されていましたが、非常に巨大な会場でした。特にメイン会場は広く、スクリーンが8枚以上はあったと思います。</p> <p>ポスター会場は、演題が 2000 弱あるにも関わらず、一つ大きなホールにすべてのポスターが余裕をもって掲示され、さらに、糖尿病関連機器のブースも併設されていました。発表形式は決められた時間に、ポスターの前に立ち、フリーディスカッションを行うといったものでした。数人から質問を受け、自分も持ち場を少し離れ、他の発表者に質問し、非常に有意義な時間を過ごせました。また、アメリカでは日本以上に肥満が問題となっており、肥満関連研究の発表の割合が多かったように感じます。</p> <p>貴重な体験ができ、参加して本当によかったと思いました。ただ、ひとつだけ気になったのは、会場の冷房がものすごく効いていて、寒かったことです。あんなに寒いのに半袖 T シャツの方も結構いたのにはカルチャーショックを受けました。今度から夏季の海外の学会に行くときは、防寒対策も考えなければと思いました。</p>	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。

